

平成29年9月2日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(71回公演)報告

29.8.31 短期入所生活介護施設 ゆかりの家 深谷市人見

今日の公演は7月に公演した「アルメニア」の時に見学に来ていた「ゆかりの家」の介護支援専門員の田村さんから会場で公演の依頼を受け実現しました。

公演時間2時前には準備もでき、利用者の方々も会場に集まりスタートできる状態にあったため、1時50分に拍手の中を会場に入場しました。

今日のお客さんは利用者の方20人と職員の方5人程のアットホームな公演です。初めに施設から紹介していただき、早速公演が始まりました。以後マイクを戴き、舛田さんが大きな拍手に迎えられ口上を、そして「南京玉すだれ」の演技が始まりました。続いて改めて5人の自己紹介をし、「玉すだれ」の動きの説明、次に根岸さんが代表して大きな形をつくり「これ何でしょう」という問い掛けを、それに対し暫らくして会場からは「桃の形に見えます。」という答えに「正解です。すばらしいですね。」といった交流で雰囲気を作っていました。次の「きよしのズンドコ節」が終わり「玉すだれ」の触れ合いコーナーでは全員の方が大きく輪を描いた「玉すだれ」をもって職員の方が撮る写真に収まっていた。特にご夫婦で来ていた2人を、職員の方がご主人の腕を奥さんの肩に回し、ニコニコ顔で最高のポーズで写真を撮ってもらっていました。次は「サザエさん体操」です。会場にいる全員で体を動かしました。最後の「東京五輪音頭」で公演修了の挨拶に移ろうとすると会場から「アンコール」という文字が書かれた「うちわ」が振られ、リクエストに応え「麦畑」を演じました。曲の最後の見せ場「ハート形」をみて「お～・お～」という声があがりました。我々5人全員がお客さんの一人一人と手を握って退場しました。帰りに深谷でコーヒを飲み、今日の成果を話合ってそれぞれ帰途につきました。



